

小笠原先生の奈良・古代史講座のご案内

主催 奈良歴史遺産市民ネットワーク

事務局 〒630-8306 奈良市紀寺町883-4

TEL・fax 0742-23-3934 小宮みち江

講師 小笠原好彦氏 滋賀大学名誉教授・文化財保存全国協議会代表委員

講座会場 奈良県教育会館 **開講13時30分(開場13時)**

(奈良県文化会館西隣 近鉄奈良駅より徒歩5分)

参加資料代 500円

4月12日(火)

《平城宮の造営と瓦生産》

藤原宮・京から平城宮・京へ遷都した際に、平城宮での屋瓦はどのように生産し、調達したのか。この瓦の生産を、古代国家は、初めて瓦葺した藤原宮での瓦生産の経験をどのようにいかしたのか。これまでの奈良山丘陵での平城宮の瓦窯の発掘の実態をもとに考えてみます。

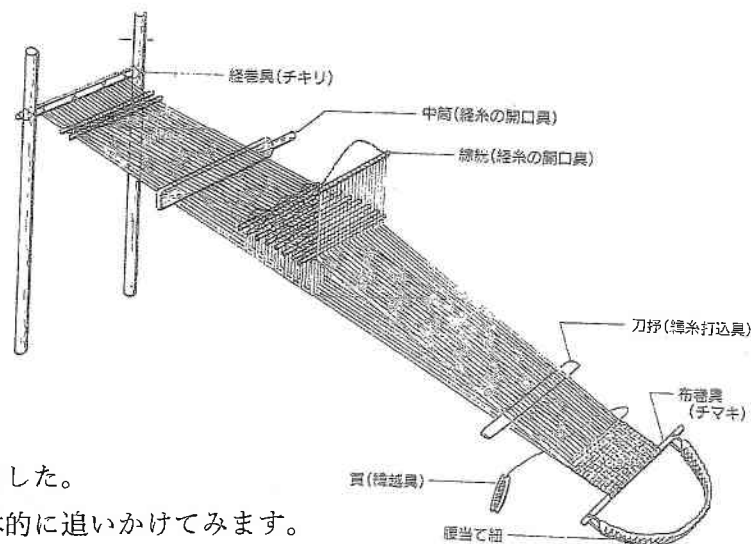


平城宮の鬼面文用瓦/近畿日本鉄道蔵

5月10日(火)

《古代の絹生産と貢納》

衣は麻布と異なり、高度な織物です。奈良時代の政府は、和銅年間に各地から工人を招集し、絹織物を生産する技術の研修を行い、その技術を伝習させるとともに、絹生産に取り組みせました。古代の絹生産の実態を、文献と発掘された遺跡から具体的に追いかけてみます。



6月14日(火)

《古代の架橋と諸物資の輸送》

日本は、各地に中・大の河川が多い国です。古代国家は、民衆がそれぞれの国を越えて移動することを嫌ったので、河川には架橋しない方針でした。しかし、頻りに川を渡る必要のあるところには、やむなく架橋しました。古代の橋の遺構をもとに、古代国家と橋の関係を考えてみます。

※コロナの感染状況により休講とする場合があります。ご了承ください。

※会場では、マスクの着用・手指の消毒・検温等を行っております。ご協力をお願いします。

☆☆☆ 事前の申し込みは要りません。どなたでも参加できます ☆☆☆